

Doc.No: NR000301

2000年3月1日

レーザー関連装置の研究開発のベンチャー会社を設立

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田明)は、2000年4月3日、レーザー関連装置の研究開発を行うベンチャー会社「株式会社レーザーソリューションズ」を設立します。

この新会社は、大日本スクリーン・グループが保有するレーザー微細加工技術、画像処理応用技術を用いて、ハードディスク(HDD)製造装置や半導体製造装置の開発・研究を行います。これらの装置の開発にあたり、ハードディスクの研究で世界的に有名なシンガポールの研究機関DSI(Data Storage Institute)と共同開発契約を2000年2月28日に締結しました。また、新会社の社外取締役として、レーザー微細加工の権威で、シンガポール大学教授およびDSIのLaser Microprocessing 研究部門のマネージャーDr.Lu Yong Feng(陸 永楓氏)を迎えます。

インターネットの飛躍的な普及にともなって、パソコン市場ではシェア獲得、機能・価格競争が激化しています。こうした背景から、パソコン内部に使用されるHDDは、大容量・コンパクト・低価格化に対する要求が強くなっています。これらのニーズに対応するためにHDD関連製造メーカーでは、高密度の磁気ディスクや低浮上の磁気ヘッドのコストダウンに注力しています。特に低浮上を可能にする磁気ヘッドの製造には微細化加工が伴い、その製造工程のクリーン度が歩留まりに大きく影響を与えています。

このたび設立するベンチャー会社が開発するHDD製造装置は、レーザー微細加工技術を応用した洗浄技術を用いてより細かなパーティクルを除去しクリーン度を向上させることにより、磁気ヘッドの歩留まりを飛躍的に改善します。さらに、ABS(Air Bearing Surface)面シェイプト・レールと呼ばれる磁気ヘッド表面構造の形成処理の前後に必要なレジスト塗布と除去が不要になり、大幅な工程の短縮化とコストダウンが図れます。また、この形成処理には現在イオンビーム照射装置が用いられていますが、同HDD製造装置はレーザーで直接に形成加工ができるため、イオンビーム加工装置の代替装置としての可能性も秘めています。

DSI(Data Storage Institute):

DSIは、シンガポール国家科学技術局(NSTB:National Science and Technology Board)とシンガポール大学が1992年に共同で設立した磁気技術センターを母体として、1995年設立の光学技術研究所およびレーザー微細加工研究所を加えて1996年4月に新設。現在、磁気記録技術を中心としたデータ記憶分野で多くの企業・大学と共同研究を行っている。

新会社の概要

社名	: 株式会社レーザーソリューションズ (英文表記: Laser Solutions Co., Ltd.)	社員数	: 17名(役員を除く)
所在地	: 大阪市福島区福島1丁目4-4セントラル70	目標売上高	: 初年度2億5千万円、第3年度5億円
設立	: 2000年4月3日	事業内容	: ・レーザー微細加工装置の研究・開発・設計・製造 ・レーザー関連装置などの輸出入・販売
資本金	: 9,500万円 大日本スクリーン製造株式会社 出資100%		: ・画像情報処理応用装置の研究・開発・設計・製造 ・他受託開発
代表者	: 代表取締役社長 奥村 義久 (おくむら よしひさ)		